



プレネイタルビジット
(出産前小児保健指導)
はじめました

お話の内容

- 母乳育児のポイント
- 沐浴と保湿の仕方
- 睡眠について
- 抱っこの仕方
- 離乳食について
- アレルギー予防について

参加者インタビュー

今回参加された皆さんは、コロナ禍ということもあり一般の妊婦の方は2名の参加で、そこに丸子の保健師の方が2名(うち1名は妊婦の方でした)の計4名でした。参加された皆さんにいくつか質問をしてみました。

<どうして参加しようと思われたのですか?>

- 一人目もコロナの中での出産で赤ちゃん学級に参加できなかったし、一人目の出産は二年前なので子育てのことを忘れてしまっていることもあって参加しました。おやつセットにも惹かれました!
(Aさん)
- 一人目の出産はやはりコロナの中で、こういう話を聞く機会がありませんでした。その息子が二歳になるのですが、今、夜泣きが大変でそれをなんとかしたいと思って話を聞きに来ました。少人数で質問もしやすく、近い距離で話が出来て良かったです。先生の実体験も交えてお話を聞いたのも良かったです。
(Bさん)



プレネイタルビジットとは?

皆さんはプレネイタルビジットとは何か知っていますか? 妊産婦の持つ育児不安を解消するために、小児科医に会い直接出産後の育児や子供の健康について相談する機会のことです。当院でも小児科医の齊間陽子先生にご協力いただき、妊娠中・出産前のご両親に小児科へご訪問していただくことで出産前の不安などについて、お話をしたり質問に答える場を月に1回程度開催しています。今回 実際にどのようなことをやっているのか、また主催している小児科の齊間先生へ取材を行いました。

小児科医の知識を地域のために 自分自身の子育て・出産の 経験いかし産前から支援



小児科部長 齊間 陽子先生

母親学級は主に出産までになるので、生まれてからの事、特に1ヶ月までの赤ちゃんについて聞く機会は少ないと思います。以前、市民講座でお話した「赤ちゃん学級」をYoutubeでも配信していますが、友達がそれを元におくるみで巻いてみて全然寝なかったようで、直接巻き方を教えたらその日からすくよくよく眠るようになったと言っていました。それを聞いて、動画だけでは伝わらない事もあると思い、直接会って実演出来る機会を持ちたいと思い始めました。また動画でお話出来なかった踏み込んだ内容もお伝えしています。

コロナ禍で、妊婦さんは特に参加しにくいだろうと思いますが、今回のように実際に新生児訪問に関わっている丸子や上田の保健師さんも参加してくれていますので、ここにこれなかった方にも保健師さんを通して伝わって行けばいいなと思います。自分も出産と子育てを経験しているので、妊娠中に自分が知りたかった事をお話しています。もしお子さんが生まれる予定の男性職員の方も、教室が終わる頃に見学に来られたら是非お教えいたします。赤ちゃんが眠くて泣いている時にささっとおくるみを巻いて寝かしつけてくれたら、きっと奥さんに感激される事間違いなしですので、お気軽にご参加くださいね。



教室参加者の声

出産後、病院にいた時からなかなか寝付かず悩んでいました。教室で教えてもらったおくるみのことを思い出し早速試してみたところ、良く寝てくれるようになりました。産前から少し知っておくだけでこんなに違うんですね。

今回プレネイタルビジットの様子を見学してみて、実際に先生が使われていたベビー布団や枕を見せていただき、非常に分かりやすい内容だと感じました。また先生の優しい雰囲気も伝わり、妊婦の方にとってとても良い機会だと感じました。コロナ禍が落ち着いたら、もっとたくさんの方に参加してもらえればと思います。



取材:小林誠(臨床工学科) 平田晴美(栄養科)